



京都看護大学・看護の智協働開発センター 「京都市看護職能力向上・定着確保研修プログラム」

看護の智協働開発センター

活動場所

京都市およびその近隣の市町村

活動目的・背景

中小規模病院や訪問看護ステーションでは、一人当たりの日常業務が過多である上に人材が流動的である特徴があり、様々な発達段階にある看護職に対する研修体制が不十分であることが多い。大学の智の還元を通して地域の医療水準の向上に寄与することで、本学の教育の質的向上を図る。

取組概要

本学と京都市の連携協議による研修プログラムをオムニバス形式で開催。京都市・府下の医療関係者の看護職能力の向上に加え、地域密着型学習の場として大学と地域とが一体となって生きた学びを吸収しあえるよう工夫がなされている。

成果・今後の課題

開校以来、毎年京都市と連携して本プログラムを開催しているが、認知度の向上に伴って当初約 200 名の参加者が現在 400 名を超える規模になっている。病院以外にも訪問看護ステーション等の施設の参加も増加しており、人材育成体制が未整備の中小規模医療施設にとって人材育成の点で重要な役割を担っている。

本取組に関する

教務部

お問合せ先

TEL : 075-311-0123